

対象 職務段階	科目	募集人数	実施時期	研修テーマ 注：網掛けのテーマは、人権に関わる研修テーマ	概要			
階層別 新任研修	全般	27	9月15日(水)	介護従事者研修（新任）	組織の一員としての意識や姿勢を基本に、対人援助に必要なコミュニケーションや接遇マナーを学び、仕事に対してのモチベーションの向上を図る。			
	中堅研修	全般	24	10月13日(水)	介護従事者研修（中堅）	業務を円滑に進めるためには、介護技術、接遇、コミュニケーション、クレーム対応などさまざまな問題を解決する組織のリーダーの存在が重要である。上司の補佐と後輩の指導という中堅職員の役割を再確認する。		
		全般	30	9月	<共同開催> 共生・福祉のまちづくり(ソーシャルインクルージョン)研修会 (調整中)			
		福祉と基本理念の倫	59	6月11日(金)	福祉・介護サービスの理念とそれに携わる者の倫理	福祉・介護サービス従事者に求められる職業倫理 利用者本位の福祉・介護サービス	高い倫理性に支えられた利用者本位のサービス提供を実現するため、福祉・介護サービスの理念を日常のサービス提供現場に反映し、運営環境を整えていく方法等について考える。	
			59	1月	高齢者、障がい者の権利擁護支援と成年後見		事業者が利用者の人権と尊厳を大切に、より良いサービスを提供していくため、認知症、知的障がい、精神障がい等で判断能力が不十分な方の自己決定の尊重や現有能力の活用等について理解を深める。	
		リスクマネジメント	59	8月20日(金)	コロナ禍における大規模災害対策について ～感染症や災害への対応～		令和3年度介護報酬改定に伴い全ての事業者に対し、新型コロナウイルスなどの感染症や大規模災害に備えた事業継続計画(BCP)の策定等が義務づけられた。日ごろからの備えと業務継続に向けて、介護事業所としての役割や取り組み等について学ぶ。	
			59	9月17日(金)	介護事業所におけるリスクマネジメント ～クレーム・事故対応から学ぶリスクマネジメント～		事業におけるリスクは幅広い範囲において想定されるが、特に介護事故は最も想定されるリスクであり、その影響は多大なものがある。介護事故に関する判例や事例をもとに、介護事故における事業者・職員の注意義務や責任について理解し、サービス提供過程における事故の未然防止や、万が一にも発生した場合の対応、改善に繋げていくための取り組み方法等について学ぶ。	
			59	8月27日(金)	介護事業所における個人情報の適切な取り扱い ～ウイズコロナでの具体的な場面を通して考える～		地域包括ケアシステム・地域共生社会の本格的な推進の中、地域の新しい繋がりによる「地域福祉」や「防災対策」を展開するため、介護事業所の役割はより重要性を増している。また、新型コロナウイルス感染症の対応下での介護サービス継続のためにも守秘義務と個人情報保護の趣旨を理解したうえで、個人情報の適切な扱いと共有を積極的かつ安心して行うことが期待されている。今回は、地域における個人情報の大切さを理解し、個人情報の取り扱いに関する様々な取り組みについて学ぶ。	
		組織運営管理	59	2月15日(火)	介護事業運営におけるコンプライアンス ～業務管理体制の整備～		法令遵守と事業運営の透明性の確保に向けた業務管理体制の整備、法令遵守のために事業所として取り組むべき事柄、管理者として必要な構えを意識し、コンプライアンス経営の実践について学ぶ。	
			59	5月11日(火)	介護サービス事業所の管理者に求められる役割とリーダーシップ		管理者の役割として重要なことは、職場全体の方針や目的を理解し、それを具体化するための方策を検討、実施しチームをまとめていくリーダーシップを発揮することである。管理者としての役割を理解し、リーダーシップを発揮するための方法を学ぶ。	
			54	6月17日(木)	職場におけるメンタルヘルスマネジメント ～心身の健康管理を大切に組織づくり～		利用者に対し質の高い満足していただけるサービスを提供するには、職員が健康でいきいきと働けることが何より重要であり、そのための働きやすい環境づくりが求められている。本研修では、職場におけるメンタルヘルスマネジメントの基本的なポイントと手法について学ぶ。	
			27	7月13日(火)	介護事業所における人事課とキャリアパス ～ロールプレイを通して学ぶ～		キャリアパス要件とは、介護職員処遇改善加算という制度を取得するための条件である。介護事業所においては、キャリアパスをどのように構築し、活用していけば事業運営に役立つのか、具体的な事例等を交えながら関連する人事課の考え方や仕組みについてグループワークを通して学ぶ。	
			27	10月20日(水)	働き方改革の基礎知識 ～魅力ある職場づくりとは～		「働き方改革関連法」について、基本的な理解を深めるとともに、「働き方」が問われている背景や留意するポイントについて学ぶ。また、人を大切にする働きやすい職場環境を実現するための方法について、グループワーク等を通して学ぶ。	
		階層別 職員全般	人権	20	11月	<共同開催> さまざまな人権問題について考える 利用者・家族からのハラスメント対策について（仮）		近年、介護現場では、利用者や家族等による介護職員への身体的暴力や精神的暴力、セクシャルハラスメント等が発生していることが様々な調査で明らかとなっている。利用者・家族等からのハラスメント対策については、職場におけるハラスメントとは異なる課題として取り組む必要がある。介護職員が安心して働くことができるハラスメントのない労働環境を構築するためにどのようなことが必要なのか考える。
				59	10月	様々な人権問題について考える	福祉課題を抱える矯正施設を退所した人たちの支援からみえてくるもの 福祉・介護サービス従事者に求められる人権の視点	刑務所などの矯正施設を退所した人は、福祉だけでなく医療、就労など多様な支援を必要としている。刑余者支援を展開する「よりよいネットおおさか」の取り組みや相談事例からみえてくる課題などから地域における支援のあり方について考える。
59	5月14日(金)			福祉・介護サービスの理念とそれに携わる者の倫理	福祉・介護サービス従事者に求められる職業倫理 利用者本位の福祉・介護サービス	高い倫理性に支えられた利用者本位のサービスを提供していくために、福祉・介護サービスの理念を基本的に理解するとともに、福祉・介護サービスに携わることの社会的意義と役割、そして従事者に求められる高い倫理性について学ぶ。		
59	7月			高齢者の権利擁護と成年後見	ハンセン病問題への理解と人権 高齢者の権利擁護と成年後見	今なお、差別や偏見に苦しんでいるハンセン病回復者の被害回復を基本理念とした「ハンセン病問題解決の促進に関する法律」が施行されたが、社会復帰者は高齢化が進んでおり、改めて医療、福祉、介護サービスにおけるハンセン病回復者の支援のあり方について理解を深める。		
59	12月14日(火)			障がい者の権利擁護と成年後見	障がい者の権利擁護と成年後見 障がい者の自己決定の尊重	人権についての理解を深めながら、認知症などのために判断能力が不十分な方の自己決定の尊重や現有能力の活用等の理念に基づいて、財産管理や身上監護を通して本人の保護を図ろうとする成年後見制度に対する理解を深める。		
59	12月14日(火)			障がい者の権利擁護と成年後見	障がい者の権利擁護と成年後見	障がい者に対する理解を深め、障がい者の自立や地域生活の支援について学ぶとともに、知的障がい、精神障がいなどのために判断能力が不十分な方の自己決定の尊重や現有能力の活用等の理念に基づいて、財産管理や身上監護を通して本人の保護を図ろうとする成年後見制度に対する理解を深める。また、障がい者虐待にも触れながら、虐待を未然に防ぐために従事者に求められる役割や責務、支援のあり方、障がい者の権利擁護について考える。		
59	1月			障がい者差別や虐待を防止するために	障がい者差別解消法等の障害者福祉制度の基本的理解 障がい者虐待事例から考える支援のあり方	障がい者の権利についての基本視点を踏まえ、障がい者虐待防止法や「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」(障害者差別解消法)について、基本的な理解を深め、差別の解消を推進し、それによりすべての人が、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現に資するよう、従事者としての役割・責務等について考える。		
50	11月			障がい者が地域で暮らすために	障がい者が地域で暮らすためには 当事者が地域で暮らすためには	障がい者施設などにおける虐待事例を踏まえながら、虐待にいたるメカニズムを考えながら、虐待を未然に防ぐために支援のあり方等について考える。		
59	5月20日(木)			利用者の尊厳 ～利用者の心に寄り添う介護を目指して～		福祉サービスが利用者自らの選択と契約による利用制度に移行し、サービスの基本理念には「個人の尊厳」が強調され、改めてサービス提供事業者における利用者視点を重視することが求められている。そこで、利用者の尊厳を保持し、利用者本位の支援とは何なのかについて考え、実践に繋げることを学ぶ。		
虐待	54			6月16日(水)	高齢者虐待防止法の理解と虐待防止に対する基本的視点		「高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律」(高齢者虐待防止法)について、基本的な理解を深めるとともに、虐待への対応と防止、従事者に求められる役割・責務について考える。	
	59			2月	高齢者虐待の現状と虐待事例から考える支援のあり方		虐待は人権を著しく侵害する行為であり、事業者には利用者の権利擁護に努めることが求められている。しかし、虐待にいたる要因は様々であり、問題を多角的に捉え、広い視野から虐待に対応していくことが必要である。本研修では、虐待にいたるメカニズムを考えながら虐待を未然に防ぐための支援のあり方について考える。	
	59			6月24日(木)	認知症の人への虐待を防止するために		高齢者虐待の多くは、認知症の人に対して行われることも少なくなく、多くは認知症の人への理解不足から起こりうるものである。虐待を未然に防ぐ認知症の人への支援のあり方について考える。	
医療	54			12月16日(木)	医療と介護の連携について ～在宅における医療機器へのかわり方～		医療ニーズの高い要介護者や重度な要介護者が増加し、介護と医療が連携し地域で支えることが重要となっている。そこで、連携していく上でのポイントとして、介護従事者が医学的な知識を有することが求められる。医療関係者、利用者との共通の理解のもと、ケアをすすめていくために必要な支援のあり方について学ぶ。	
	54			12月	高齢者介護に必要な医療知識 ～これだけは押さえておきたい疾患～		高齢者のからだ(心身)の特徴、介護のポイントや多くみられる症状や疾患について、基本的な医療知識を学び、利用者一人ひとりの疾患について理解を深め、病気に寄り添った介護のあり方について考える。	
	59			8月19日(木)	人生最終段階における医療ケアの多職種連携について		重度な要介護状態になっても、日常生活圏域に必要な医療、介護サービス等を一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築が進められており、その実現のためには、医療と介護の連携やチームケアが重要となる。利用者を支える上でのスムーズな連携体制を取るには、何が必要か等、実際の現場の声から学ぶ。	

対象 職務段階	科目	募集人数	実施時期	研修テーマ 注：網掛けのテーマは、人権に関わる研修テーマ	概要
テーマ別 職員全般	認知症	59	7月	認知症の医療について	増加する認知症の人のケアが社会的課題となっているが、本研修では、認知症の原因や症状、治療方法、効果的な新薬など、認知症についての基本的理解を深め、よりよいケアのあり方を考える。
		59	8月	レビー小体型認知症について	認知症をきたす疾患で最も多いのがアルツハイマー型認知症であるが、脳血管性、レビー小体型、前頭側頭型も比較的に多いとされている。レビー小体型とは…本研修では、レビー小体型認知症の病態の特徴や治療等について学ぶ。
		59	9月	前頭側頭葉変性症(前頭側頭型認知症・意味性認知症)について	認知症をきたす疾患で最も多いのがアルツハイマー型認知症であるが、脳血管性、レビー小体型、前頭側頭型も比較的に多いとされている。前頭側頭葉変性症(前頭側頭型認知症・意味性認知症)とは…本研修では、前頭側頭葉変性症及び意味性認知症の病態の特徴や治療等について学ぶ。
		54	5月12日(水)	認知症の人の理解と支援 ～「人」が大切になる関わりへ～	認知症の人と接するには、認知症を理解することが重要である。認知症の症状は中核症状とBPSD(周辺症状)の大きく2つに分かれるが、後者の症状は、周囲の関わりやケアの影響が大きいことが特徴で、対応の仕方により改善されることもある。なぜその症状が起こるのかを理解し、これからの認知症ケアのあり方を考える。
		54	10月14日(木)	若年性認知症の人の理解と支援のあり方	65歳未満で発症する認知症を「若年性認知症」といい、全国で4万人近くいると言われている。若年性認知症の人は、就労や生活費等の経済的問題が大きいことから、本人だけでなくその家族への生活に影響を及ぼし、支援サービスや制度が整っていないため、社会的な問題を抱えている。若年性認知症を理解するとともに、支援のあり方について考える。
		59	12月15日(水)	認知症の人と家族への支援 ～家族の求めている支援とは何か～	認知症の人を介護する家族に対する理解を深め、福祉・介護サービス事業者に期待される家族支援の役割と課題について考える。
	スキルアップ	59	1月	訪問介護計画書の作成、書き方のポイント	訪問介護計画書は、利用者の変化をとらえ利用者本位のよりニーズに合った適切なサービスを提供していく上で重要であるばかりでなく、ケアの内容・方法を事業所内で共有し事業所全体におけるスキルの向上、ケアの均質化を図る上で欠かせない重要な書類である。本研修では、アセスメントから計画書作成のプロセスと書き方のポイントについて学ぶ。
		18	7月28日(水)	通所介護計画書の作成のポイント	通所介護計画書は利用者一人ひとりに対して、心身の状況、本人のニーズ等を踏まえ、機能訓練等の目標、当該目標を達成するために、具体的なサービスの内容を記載しなければならぬものである。利用者に応じた適切なサービスが行われるためにもスキルを身につけ、作成のポイントについて学ぶ。
		59	8月24日(火)	介護職に必要なセルフマネジメント力 ～自分自身を理解し、人と関わる力を身につける～	介護職に必要なスキルには、対人援助力、コミュニケーション力、マネジメント、コーチング力とさまざまであるが、自分自身を理解し、周りの人と関わっていく力を養うとストレスが減り、メンタル面の強さに繋がる。モチベーションを上げ自信を持って仕事を行うためのセルフマネジメント力について学ぶ。
		59	10月	介護職に求められるコミュニケーション力	対人援助職である介護サービス従事者は、より良いケアを行うために利用者やその家族と信頼関係を築き、真の想いやニーズに添ったサービスを提供するためにもコミュニケーション力を磨くことが大切である。対人援助職に必要なコミュニケーションスキルを学ぶ。
	リスクマネジメント	59	11月17日(水)	通所介護・デイサービスにおけるリスクマネジメント	デイサービスにおけるリスクマネジメントの特徴は、限られた空間や限られた時間での支援となるため、利用者の心身の状態把握や変化が捉えづらい状況である。また、日々の変化が流動的であるため、職員間の情報の共有、周知徹底を図ることや日頃からリスクに対する意識を持つことが大切となる。事故が発生した場合の対処方法等について、事故やヒヤリハットの事例を通して、危機管理に対する取り組みについて学ぶ。
		59	11月	介護現場における急変時の対応について ～コロナ時代における救命法～	介護現場において、医療ニーズの高い対象者が増加しているなか、サービス提供中に利用者が急変を引き起こしたりするリスクが高まっている。そこで、いざという時の知識を身につけ、介護現場で起こりうる様々な急変時に遭遇した場合に活かせる対応について学ぶ。また、もしものとき自分が受けた医療や介護について、前もって家族や関係者と繰り返し話し合いを共有するACP(アドバンス・ケア・プランニング)愛称「人生会議」について学ぶ。
		59	6月18日(金)	介護現場におけるクレームや介護事故への対応について ～介護報酬改定を踏まえて～	介護サービスを利用する者の権利意識は高く、事業者への苦情やクレームはなくなることはなく適切な対応が重要である。令和3年度から施設系サービス事業者を対象に事故発生防止のための安全対策の担当者や運営基準における事故発生防止又はその再発防止のための措置を講ずることが求められている。本研修では、介護事故発生防止と発生時の適切な対応についてのポイントを学ぶ。
		59	10月	福祉サービスの苦情解決の取組み ～福祉サービスの質の向上をめざして～	さまざまな場面で発生する苦情に対してどのように対応すればよいのかを具体的に学ぶとともに、苦情を未然に防ぐために日頃から講じておくべき取り組みについて学ぶ。
		59	1月	福祉・介護サービス従事者に求められる法令遵守(コンプライアンス)	福祉・介護サービスの財源は、公費(税、保険料)によって賄われる公益性の高い制度であり、事業者にはより高い水準の法令遵守と事業運営の透明性の確保が求められる。本研修では、法令遵守の重要性を理解し、取り組むべき事柄や心構え等について学ぶ。
		300	6月	<共同開催> 感染症・食中毒予防対策講習会	感染症の発生を未然に防止し、また発生した場合にその影響を最小限に止めることは、利用者に安全・安心な福祉サービスを提供するために不可欠な取り組みである。食中毒の発生が懸念される季節を前に、その原因や対策、防止法等について学ぶ。
		100	11月11日(木)	<共同開催> 感染症予防対策講習会「冬季の感染症対策」	感染症の発生を未然に防止し、また発生した場合にその影響を最小限に止めることは、利用者に安全・安心な福祉サービスを提供するために不可欠な取り組みである。インフルエンザや新型コロナウイルス感染症を中心に、その注意喚起を行うとともに衛生管理等の取り組み方法について学ぶ。
	100	11月18日(木)	～インフルエンザと新型コロナウイルス感染症を中心に～		